

令和記念 万葉の郷とっとりけん 全国高校生短歌大会

審査員

上野 誠 うえの まこと

奈良大学文学部教授。第12回日本民俗学会研究奨励賞、第15回上代文学会賞ほか多数受賞。
『古代日本の文芸空間』『万葉挽歌のころ—夢と死の古代学』など著書多数。万葉文化論の立場から、歴史学・民俗学・考古学などの研究を応用した『万葉集』の新しい読み方を提案。



大辻 隆弘 おおつじ たかひろ

高校教諭(国語科)。NHK短歌選者、現代歌人協会会員、現代歌人集会理事、日本文藝家協会会員、中部日本歌人会副委員長、『未来』選者。第29回斎藤茂吉短歌文学賞、第12回島木赤彦文学賞受賞、第3回佐藤佐太郎短歌賞受賞。歌集『景德鎮』評論集『近代短歌の範型』など著書多数。



小谷 奈央 こだに なお

歌人。2014年第26回歌壇賞、河野裕子短歌賞ほか受賞。
鳥取市内の歌人グループ「みずたまり」会員。

令和記念 万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会

出場チーム

令和Girls(茨城県立下妻第一高等学校)

私たち令和Girlsは、この大会に参加する高校の中で鳥取県から一番離れた、茨城県から参りました。3人は普段、それぞれ演劇部や弦楽部に所属していて、今回を機に文藝部にも所属することになりました。この度のご縁があり、この大会に選ばれ出場できることをとてもうれしく感じています。3人は同じクラスですが、詠む短歌の内容はそれぞれ全く異なります。誰がどのような歌を詠むのか、どのような違いがあるかにも注目してください。

渋谷高等学校(渋谷教育学園渋谷高等学校)

こんにちは！渋谷文芸部です。満員電車で通学し、日々もみくちゃにされているような都会の学校だからこそ言わせてください。私たちは急行電車の吊革のような存在です。犇めき合いぶつかり合う個性に弄ばれるもの。私たちは三者三様、誰一人として同じような短歌を詠みません。でも、だからこそお互いを高め合えると思っています。

溢れる思いを三十一文字に変え、努力を結果に変えられるように精いっぱい頑張ります！

橘 (岡山県立岡山朝日高等学校)

私たち岡山朝日高校のチーム「橘」は、短歌初心者ながら圧倒的な個性を持つ者の揃う「文学部」で、互いの作品を磨き合ってきました。仲間達の溢れる個性を信じて作り上げた作品を胸に、最後まで精一杯戦い抜きたいと思います。そして、鳥取県の美味しいフルーツを持ち帰り、皆で食べたいと思います。力を合わせて頑張ります！

鳥取東高(鳥取県立鳥取東高等学校)

私たちは鳥取東高校2年生、理数学科に所属する生粋の理系でクラスメイトという男子3人のチームです。普段の授業では、どちらかというと文系科目より理科系の実験や課題研究を行う方が多いです。そんな私たちが大会に出ることになり、最初は戸惑いましたが鳥取東高校の代表として頑張りたいと思います。みなさん、応援よろしくお祈りします。

準決勝作品

令和Girls	先鋒	綿田 美咲	海鳥よ会いたい気持ち乗せてって海の向こうの久しい友へ
	中堅	平澤 優衣	本の中覗けば星の大群が窓の外では雨の香匂う
	大将	藤田 結衣	妹の喜怒哀楽を見ていたらふいに重なる母の面影
渋谷高等学校	先鋒	古波鮫 空己	冬を着て春へと歩く雷鳥の空飛ぶ様は綿毛の姿
	中堅	岡 奎那	木星に春があるなら咲くだらう母の「の」の字のかたちの花が
	大将	嶋津 岳大	本の背の葉も黒い雨に濡れてその重心を失ってゆく
橘	先鋒	赤松 音於	枯蓮にひと群の鳥舞い降りて途方に暮れる家出少年
	中堅	金子 遼耶	二十二時塾のドアからとび出して独りぼっちの星と駆け出す
	大将	笹野 裕矢	重ねても重ねてもまだ満たされぬような気がする十七の夏
鳥取東高	先鋒	山根 陸	週四日スロープ両手に一歩ずつだったら鳥に生まれたかった
	中堅	平尾 大貴	輝きを年月かけて送る星過去のひかりを僕は見ている
	大将	熊田 遼佑	この思いえいやと投げて落ちてった重くて君に届かないのか

審査員特別賞

永田和宏賞	デメロ ヤダ リサ (茨城県立結城第二高等学校)	揺らしたら星が落ちてきそうだから天動説を唱えましょうか
大辻隆弘賞	谷地村 昂 (青森県立八戸高等学校)	ミルフィーユ生地を重ねるように聴く父が集めたアナログディスク
江戸雪賞	青木 柊斗 (鳥取県立鳥取東高等学校)	道ばたで車にひかれて息絶えるあの鳥の名を僕は知らない